

地域レジリエント社会研究コンソーシアム設立趣意書

近年、自然災害の激甚化や多様化に伴い、地域社会における防災・減災・縮災への対応力の強化は喫緊の課題となっています。また、少子高齢化や多様化する地域ニーズに対応したレジリエントな社会の構築には、従来の枠組みを超えた連携・協働の仕組みが必要とされています。こうした背景のもと、大学、行政機関、民間企業等が互いの知見や技術を持ち寄り、地域の課題解決に向けて連携して取り組むためのプラットフォームとして、「地域レジリエント社会研究コンソーシアム」を設立いたします。

本コンソーシアムは、防災に関して地域が抱える多様な課題に対し、研究開発の拠点である大学、地域の実情を熟知する自治体、実践的な技術とノウハウを持つ企業など、多様な関係者がそれぞれの立場から相互に交流・協力し、実効性の高い取り組みを展開することを目的としています。具体的には、防災計画の策定・改善、災害対応体制の強化、インフラの維持管理や保全、企業の事業継続計画の推進、災害時における多様性への配慮といった、幅広いテーマについて情報を共有し、必要に応じて共同研究や社会実装につなげていきます。また、埼玉県や県内自治体、地元企業などから寄せられるニーズを受け止め、それに応じた取り組みを検討することも、コンソーシアムの重要な役割です。

さらに、コンソーシアムを通じた活動により、最新技術や知見を地域に還元することで、自治体や企業、地域住民を含めた地域全体の防災力向上を図り、災害発生前の備えから、発災時の迅速な応急対応、被災後の復旧・復興体制の構築までを支援することが可能となります。こうした連携を通じて、地域に根差したレジリエント社会の実現を目指します。

本コンソーシアムは、会員間の連携を深め、研究成果の社会実装や政策提言を行いながら、地域社会の安全・安心の確保と持続可能な発展に寄与してまいります。

令和 7 年 7 月 31 日

地域レジリエント社会研究コンソーシアム 設立時会員一同

設立時会員（五十音順）

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・ MS&AD インターリスク総研株式会社
- ・ 国立大学法人埼玉大学
- ・ 埼玉県
- ・ さいたま市
- ・ 損害保険ジャパン株式会社